

☆前回審議会におけるご意見等(基本計画案)

N O	頁	指摘箇所	修正案
1	6	(3)学校図書館を活用した調べ学習の推進の事業内容「学校図書館コーディネーター・アドバイザーの派遣」	「コーディネーター」→「コーディネーター」 他の文章内ではコーディネーターと表記しているので統一したほうが良いと思う
2	17	図表2施策体系(安全・安心)	「安全・安心」→「健康・サポート」
3	6	3)学校図書館を活用した調べ学習の推進	学校図書館コーディネーターやアドバイザーの配置はいらぬのではないか。その分、図書館指導員を厚くするべき。
4	7	5)いじめ・不登校等対策のための人的配置の強化	スクールソーシャルワーカーをきぼうの園や学習相談室に配置するより、学校にスクールカウンセラー(学校心理士)の3日/週の配置の方が効果的である。
5		健康・サポート分野の「生きがい就労」について	「生きがい就労」という用語の「就労」という言葉は、学術的な場面で使う分にはなんら問題のない言葉なのですが、総合計画など市民向けの文書の中で使う場合は、「労」という文字が入っていることから、何かお金を稼ぐためにする賃労働に限定した話かと市民に誤解されるおそれがあると思われまますので、「就労」という言葉を「就業」という言葉に代えた方が良いかどうか、検討していただく有り難く存じます。

☆前回審議会におけるご意見等(優先順位について)

N O	分野	施策	取組	事業	優先順位	理由
1	健康・サポート	2-4 医療介護の連携体制・支援等の充実	1) 地域医療体制の整備	2)小児等救急医療体制の充実	上げた方がよい	分野別計画の健康・サポートでは、高齢者向けの対策が中心ではあるが、重点目標に「子どもを安心して産み育てられるまち」とかかっているため、優先順位をあげたほうが良いと思う。
2	子ども未来	1-1 子どもの学ぶ意欲と習慣の育成	1) 学力を身につけるための教育の推進			事業の並びを以下のとおり変えてはいかかか。 ①学びを支援する人員配置の充実 ②学校図書館を活用した調べ学習の推進 ③学びフロンティアプロジェクトの推進 ④授業でのICTの利活用推進
3	子ども未来	1-1 子どもの学ぶ意欲と習慣の育成	2) 豊かな心を育む教育の推進	1)道徳教育の充実 4)小中連携の推進	上げた方がよい	学力向上には「落ち着いた学校環境」つくることが最優先されるため。28年から道徳の教科化がされることを見越した展開が必要。「小中連携の推進」は取組1で良いのではないか。
4	子ども未来	1-1 子どもの学ぶ意欲と習慣の育成	5) 支えを必要とする子どもの教育環境づくり	1)いじめ・不登校等対策のための人的配置の強化		取組2に移すべき。「いじめ」は支えが必要なのではなく、「豊かな心を育む教育」を推進することで達成すべきこと。